

弓削コミセンだより

2022年10月

県内の新型コロナ感染者数が8月に一時5,000人超えた日がありました。現在は減少傾向ではありますが、感染予防への配慮をして、利用・活動を継続していただいております。

今後も、感染対策を継続し、安心して利用いただけるようコミセン運営を進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

今回の活動の紹介では「子ども茶道教室」、「おとなの漢字教室」、卓球「はなぶさクラブ」の皆さんにご協力いただきました。

「子ども茶道教室」(月1回/第2土曜日)

生徒さん3人に、参加してよかったことや今後の目標などについての意見及び指導の先生からのお言葉を紹介します。

茶道教室に参加してよかったこと、楽しいことはどんなことですか？



「いろいろな人と出会え、仲が深まること、お茶を立てることが楽しいです」

「『盆略手前』などを先生から習うのが楽しいです」

「もともとお茶が好きだったから、お茶をたてたりして飲むのが楽しいし、参加してよかったなあって思います」

目標、がんばりたいことはどんなことですか？



「お茶をもっと立てることをがんばりたいです」

「完璧にお点前ができるようになりたいです」

「盆略手前を最初から最後までできるようになりたいです」

茶道教室で学んだことを大人になってからも続けたいですか？



「はい、大人になってからも続けたいです」

「この茶道教室で学んだことを生かして大人になっても続けたいです」

「将来の夢は別だけど、大人になったら色々なことができるようになりたいので、続けたいです」

指導の先生からお言葉をいただきました！



日本の伝統文化を身近に感じて、日常生活に生かせる体験となつてほしいです。

茶道には多くの興味の『種』が潜んでいます。

一人ひとりが新たな興味を見出してもらえたら嬉しいです。



「おとなの漢字教室」(月1回/第3金曜日)

約3300年前の中国古代の人々が漢字の起源である文字を作った手掛かりが分かる発掘調査・研究・発見などの資料・辞典をもとに、日常生活で、私たちが何気なく使っている漢字の「謎や物語」を調べて、まとめる活動を行っています。



※漢字の起源・古代の人々の生活や風習など特に印象に残ったことを皆さんに尋ねてみました。

調べた漢字	古代文字	調べて分かった漢字の起源・意味 古代の人々の生活や風習	「なるほど・そうだったのか」 などの感想・印象
幸		<p>中国古代では神の裁きを受ける「神判」により、重たい刑から軽い刑があった。</p>  <p>手かせをはめられ、手の自由だけを奪われる刑は軽い刑であるので「幸」は「さいわい」なことになる。</p>	<p>「幸」が手かせをはめた形とは思いませんでした。ちょっと考えると「さいわい」とは逆のようだが、当時の刑からすると軽い刑で「しあわせ」の意味になったということに納得しました。(N.T)</p>
豊		<p>曲は穀物を籠に盛っている形。豆は「まめ」ではなく「器」(高坏:お供え台)の形で、豆は荳(あずき)と音が同じであることから食物の「まめ」となった。</p>   <p>「高坏:たかつき」</p>	<p>五穀豊穡(米・麦・粟・豆・黍)の言葉があるが、器一杯盛って供えられているのを見るのは、当時の食料事情から、安心できて心豊かになれるだろうと思いました。(S.R)</p>
津		 <p>津は「入れ墨の針と津液(血液)がしみ出る形」か「手に持った筆としずくの形」。金文に</p> <p>しん 准と舟とを組み合わせた形の字が津と音が同じであったので、津を“渡し場、津”の意味になったのではと思われる。</p>	<p>「准(進)と舟とを組み合わせた形」の字と「津」の音が同じ「シン」であることで、「船を進める」、「渡し場」を暗示する漢字。「入れ墨の針」ではなく、怖いイメージがなくなりました。(S.N)</p>
典		<p>『冊十丌』で「典」、台(机)の上に書物が大切に備えられている情景。文字を書いた竹簡は編んだ形が冊(冊)に似ているので書物の意味に用いる。古代の書物は手本として尊ばれた。</p>   <p>冊(竹簡) 丌(台)</p>	<p>自分の名前のこの漢字は好きではなかったのですが、書道の先生から印を作ってもらったとき、机の上に書物を置いてある情景の字と教わり本を中々読まなかった自分を反省しました。(U.N)</p>
博		<p>卞(干)は「盾」で武装して攻める。</p> <p>専(專)は根を包んだ苗木を手で持った形。占領地に苗木を植え領土を広げる。</p>   <p>「盾」 「手に持つ苗木」</p>	<p>万博があった年、息子の名前に「博」を付けました。古代文字では武器や戦争で領土を広げる意味がありますが、平和で正しいことが広がる世界になってほしいと思います。(N.S)</p>

卓球「はなぶさクラブ」(毎週月曜日)

参加年数 5年の山下さん、3年の橋本さんから日頃の活動の様子や卓球への思いなどの言葉をいただきました。



活動に参加して良かったこと、楽しいことはどんなことですか？

「仕事で疲れたとき、ストレスを感じたときでも卓球をすると、ストレスが解消し、楽しい会話など皆仲良く卓球をやっています」
「和気あいあいで卓球ができ、その中でも真剣に指導してもらえることです」



これからの目標、やってみたいことはどんなことですか？

「皆健康維持、無理をせず、年をとっても卓球ができることです」
「全日本でランキングに入ることです」



卓球の魅力、はなぶさクラブで自慢したいことはどんなところですか？

「魅力は何と言っても楽しく笑いが絶えず、健康を保てる事です。又、チームワークが良く皆元気で楽しいことです。全日本ラージ大会で良い成績を残すことです」
「ベテランの方々が強くて、すばらしいところです」



「はなぶさクラブ」の名称、活動の年数、今後の計画について？

「仲間の一人の『英』を訓で読み、『はなぶさクラブ』と名付けました」
「皆で技術を磨き、全日本クラスで上位目指して、日々、練習に励んでいます」

※子ども茶道教室、おとなの漢字教室、はなぶさクラブの皆さん、ご協力ありがとうございました。

☆☆☆☆☆体験参加者募集案内☆☆☆☆☆

☆☆☆「手話サークル」第2・4水曜日 午前☆☆☆

体験を通して手話の魅力や役割を知っていただき、聴覚障害のある人たちとの交流の機会を広げていただけたらと思います！

☆☆☆卓球「宮田グリーン会」毎週水曜日 午前☆☆☆

卓球に興味のある方、初めての方、どなたでも歓迎します！

※体験参加申込・問合せは、下記「弓削地域コミュニティセンター」へ

参加希望期日を活動団体の代表者の方へ伝えて、実施可能日を確認後、コミセンから連絡します。

熊本市弓削地域コミュニティセンター

〒861-8002熊本市北区弓削3丁目14番1号 ☎ 096-337-2102